

## 1 学校教育目標

- ・自ら学び目標をもって努力しよう
- ・互いに尊重し助け合おう
- ・困難に耐え心と体を鍛えよう

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力が身に付く学校</li> <li>・思いやり、自己肯定感、自己有用感が育つ学校</li> <li>・心身ともに健やかな生徒を育てる学校</li> <li>・生徒、保護者、地域から信頼される学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもち、自ら進んで努力する生徒</li> <li>・礼儀や思いやりを大切にし、互いに認め合い、社会に貢献できる生徒</li> <li>・心身ともに健康で、何事にも一生懸命に取り組む生徒</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人を理解し、寄り添い、最後まで諦めない教師</li> <li>・授業改善に努め、日々、研究・実践に努める教師</li> <li>・教育公務員としての自覚と誇りをもち、組織の一員として職務に励む教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### (学校の現状及び成果)

- ・全体的に落ち着いた環境の中で、日々の教育活動が行われている。
- ・生徒たちは、各学校行事に対して、達成感や連帯感をもち、自ら所属する集団をより良い集団にしようと考え行動している。
- ・教職員は、授業改善に向け互いに学び合い、学校全体で協力して課題解決しようと常に努力している。
- ・保護者、地域の方は、共に本校の卒業生が多く、学校の教育活動に協力的である。

### (成果)

- ・生徒アンケートにおいて、学習に対する意欲、学校をよりよくしたいという学校満足度や貢献意欲の項目において、肯定的回答が90%以上得られ、充実した学校生活への前向きな気持ちを読み取ることができた。
- ・保護者アンケートにおいて、情報発信・学校行事の充実、安全教育の項目で、90%以上の肯定的回答を得ることができた。

### (課題)

- ・勉強が大切だと感じている生徒が90%以上おり、誰にとってもわかりやすい授業の実践に努めていく。
- ・一人一台端末を活用した授業改善の推進、家庭学習における取組の充実を図っていく。
- ・学校全体で、学校教育におけるユニバーサルデザインを推進し、誰にとっても居心地の良い集団づくりを進めていく。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	学びのユニバーサルデザインの実現			○	○	○
3	連携小学校や家庭・地域・外部機関との連携、信頼される学校づくり			○	○	○

## 5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
学習意欲の向上を図り、確かな学力の定着を目指す		令和8年度区調査通過率65% 年度末到達度確認テスト正答率60%							
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	「勉強が楽しい」作戦 ①授業力向上と授業改善	全学年 全教科	通年	・一人1台端末を活用した授業改善（授業力向上） ①管理職による授業観察（年3回） ②年次研修 授業観察実施 ③相互の授業観察実施（年2回） ④小中連携による研究授業公開と協議会	ICT活用場面 KPI指数 生徒アンケート 教員アンケート 保護者アンケート	・KPI指数 ・生徒アンケート肯定的回答80%以上 ・小中連携教育肯定的回答80%以上 ・保護者アンケート 授業に関する項目において、改善を要する5%以下			

継続	「勉強がわかった・できた」作戦 ①基礎学力の定着	全学年	①週3回 ②夏季休業中 ③通年	①放課後補充教室の実施 ②サマースクール・中1勉強合宿（通所型）の実施 ③AIドリルの有効活用（授業・家庭学習）	実施回数および参加者  生徒アンケート キュビナ活用	・生徒アンケート肯定的回答80%以上	
継続	「勉強がわかった・できた」作戦 ②学習コンテストの実施	全学年	年3回	国数英達成率 グランドスラム賞	定期テストによる検証 コンテスト結果による検証	コンテスト達成率80%以上  生徒アンケート肯定的回答80%以上	
継続	読書活動の推進	全学年	通年	朝読書の実施	読書記録 生徒アンケート	生徒アンケート肯定的回答前年度以上	

重点的な取組事項－２		学びのユニバーサルデザインの実現			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
互いを尊重し、誰もが居心地のよい安心安全な学校の実現		生徒の自己肯定感・自己有用感の向上 (前年度との比較)			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権教育の推進	生徒アンケート肯定的回答	教育活動全般において実施 人権教育の視点をいれた授業実践 生徒会活動の充実			
PBS（ポジティブ行動支援）による自己肯定感・自己有用感の向上	生徒アンケート肯定的回答	教育活動全般において実施 居心地のよい学級づくり、エンカウンターの実施			
WEBQU の調査結果を有効活用した生徒支援	WEBQU 2 回目の要支援群及び割合の減少 アンケート肯定的回答	調査結果の分析			
特別支援教育・教育相談の充実	生徒アンケート肯定的回答	学校全体でユニバーサルデザインの推進 校内研修会の実施 校内委員会での情報共有			
キャリア教育の推進	生徒アンケート肯定的回答	計画的なキャリア教育の実施 全校生徒を対象とした、校長による面接練習の実施			

重点的な取組事項－3		信頼される学校づくり			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
連携小学校や家庭・地域・外部機関との連携、信頼される学校づくり		学校評価アンケートにおける関連項目の肯定的回答 80%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携研修 教員・生徒・児童の 交流	共通実践事項の実践 小中の交流活動の実施	人権教育の視点に基づいた授業実践 生徒・児童の交流活動 本校・学区内小学校特別支援 学級の児童生徒同士の交流			
家庭との連携	学校評価アンケート 肯定的回答	学校だよりの計画的な発行			
地域との連携・協力	学校評価アンケート肯 定的回答	・地域の方への情報発信。 ・あいさつ運動、六中マルシ ェ、荒川ウォークなどの参加 を生徒に呼びかける。			